

# 労働安全衛生

## 基本的な考え方

ミウラグループは、事業活動を行ううえで、従業員一人ひとりの「安全・健康」を第一と考えています。「ミウラグループ安全衛生方針」のもと、安全衛生委員会が推進者となり、グループ全社でさまざまな安全衛生活動に取り組み、安全・安心で働きやすい職場環境づくりを進めていきます。

## ミウラグループ安全衛生方針

ミウラグループは、事業活動のあらゆる面において安全・健康を第一と考え、従業員自らが積極的に安全衛生活動に参画すると共に職場環境改善を継続的に実施し従業員及び関係者の災害撲滅と健康増進を図ります。

### 重点項目

1. 安全衛生関連法令及び社内基準の遵守を基本として、安全衛生活動への取り組みを展開します。
2. 職場における危険予知(KYT)・危険源の除去を行い、労働災害ゼロ(ゼロ災)を目指します。
3. 社員の心と体の健康維持・増進の為に健康経営に積極的に取り組みます。
4. 交通ルールを遵守し、交通労働災害の低減を図ります。
5. 大規模災害を想定し、組織的に活動できる防災体制を整えます。
6. 従業員及び関係者とのコミュニケーションを図り、全員参加の安全衛生活動を実行します。

## 安全衛生マネジメント

### 安全衛生委員会

安全衛生委員会規程のもと、安全衛生委員会の構成、運営、調査審議事項を定め、安全衛生管理活動の円滑な推進を図っています。

安全衛生委員会は、全社活動に加え、事業所別の安全衛生委員会も構成し、本社地区、北条地区、製造グループに属する各事業所(生産子会社を含む)、東京・埼玉・名古屋・大阪・福岡などの各拠点において、各々毎月開催しています。

### 安全衛生活動の推進

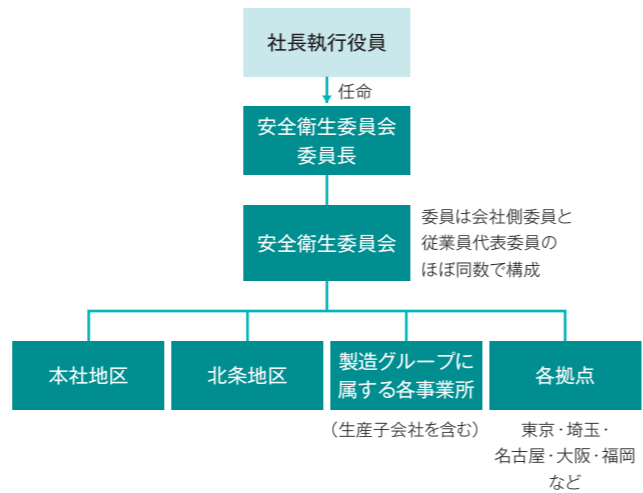
安全衛生管理規程に従い組成、選任している安全衛生委員会や総括安全衛生管理者、安全管理者、衛生管理者、安全衛生推進者、産業医が中心となって安全衛生活動を推進しています。年度ごとに総括安全衛生管理者が表明する「安全衛生方針」のもと、目標や計画を作成し(Plan)、実施(Do)、確認・評価(Check)、審議・承認、翌年度の目標・計画の作成(Action)のPDCAを実行しています。

また、「休業災害ゼロ」を目標としたスローガンを制定し、5S(整理・整頓・清掃・清潔・躰)強化月間活動やヒヤリハット・KYT(危険予知トレーニング)活動、生産設備導入時のリスクアセスメント活動などを行っており、交通安全のための「交通事故アンダー80」活動も行っています。

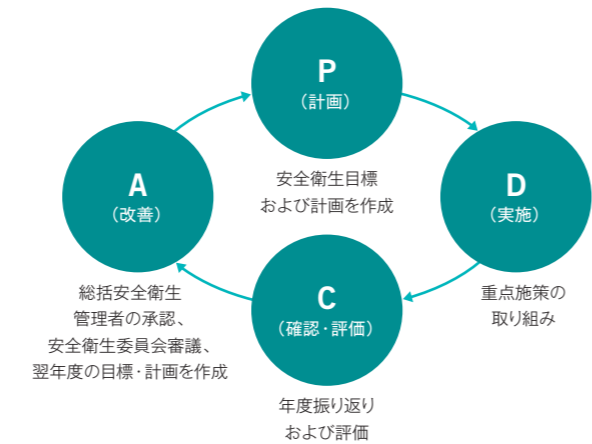
### 安全衛生教育の実施

安全衛生管理規程および安全衛生管理要領の規定に従い、従業員のみにとどまらず、工場構内立ち入り業者や販売部門下請業者など取引業者に対しても安全衛生教育を実施しています。2021年3月期の従業員受講者数は延べ1,470名で、取引業者は全国で1,455社が受講しています。

### 安全衛生委員会体制図



### 安全衛生活動推進のPDCAサイクル

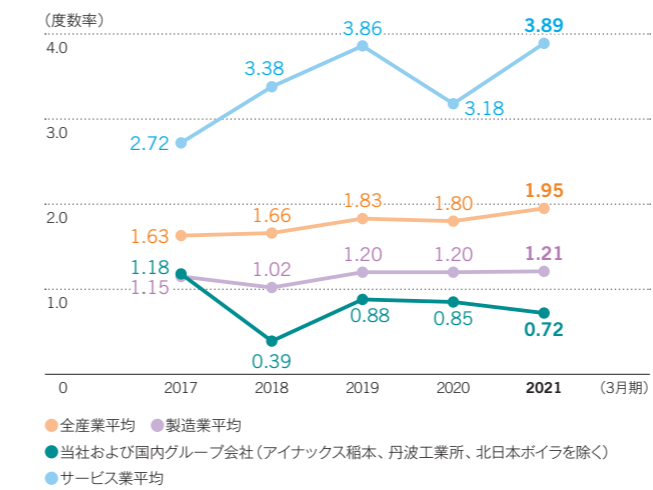


## 安全への取り組み

安全衛生委員会が中心となり「休業災害ゼロ」を目指し、安全への取り組みを強化、推進しています。2021年3月期の休業災害は5件と、前期から2件減少しました。休業災害度数率は0.72と前期から0.13低下した一方、強度率は下請業者の事故の影響により0.92となり前期から0.91上昇しました。

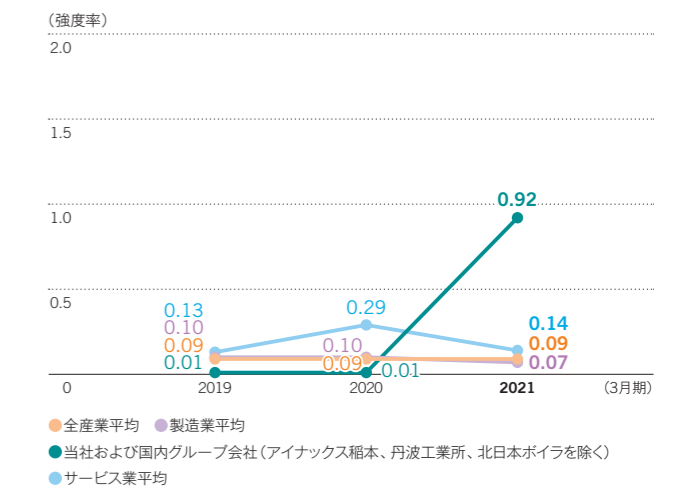
毎年、当社において過去に発生した労災事故例なども踏まえた集合安全衛生教育を展開していますが、2021年3月期はコロナ禍の影響もあ

### 休業災害度数率



※度数率: 100万労働時間当たりの休業(1日以上)災害件数  
 ※全産業平均、製造業平均データ出所: 厚生労働省「労働災害動向調査」  
 ※参考のため、機械修理業が該当する「サービス業(他に分類されないもの)」の度数率もグラフのなかに取り込んでいます。

### 労働災害強度率



※強度率: 1,000労働時間当たりの労働損失日数  
 ※全産業平均、製造業平均データ出所: 厚生労働省「労働災害動向調査」  
 ※参考のため、機械修理業が該当する「サービス業(他に分類されないもの)」の強度率もグラフのなかに取り込んでいます。  
 ※2021年3月期は下請業者で発生した事故の影響が反映されています。

## 健康経営の推進

ミウラグループでは、従業員の心と体の健康保持・増進のため、健康経営に積極的に取り組んでおり、健康経営宣言を社内外に発信しています。

### ミウラグループ健康経営宣言

ミウラグループは「最も働きがいのある、最も働きやすい職場づくり」をモットーに、事業活動のあらゆる面において社員の健康・安全を第一と考えております。社員の心と体の健康保持・増進の為に、健康経営に積極的に取り組みます。

総務担当役員を健康経営責任者として、総務部安全衛生管理課がミウラグループ健康保険組合と協力し、健康経営の推進を行っています。

施策の効果は、健康保険組合と定期開催する「コラボヘルスプロジェクト」などで検証し、施策改善を行っています。主に、残業低減・生産性向上や健康増進、メンタルヘルスクエ推進に取り組んでおり、具体的には、ノー残業デーの設定やフレックスタイム制度の運用、定期健康診断(受

診率100%)や任意健診の受診費用補助などを行っています。また、健康ウォークラリーやストレスチェック、メンタルヘルス相談窓口の設置、職場復帰支援も行っていきます。なお、健康に関する教育は入社時と退職者への昇格時に行っています。これらの取り組みが評価され、当社は「健康経営優良法人(大規模法人部門)2021\*」に、三浦アクアテックは「健康経営優良法人(中小規模法人部門)2021\*」に、前期に続き認定されました。

※経済産業省と日本健康会議が進める、健康経営を実践している特に優良法人を表彰する制度

